



令和2年度

福賀小だより



Vol.17
2021.1.7

一年の計は元旦にあり! …そして。。

「明けましておめでとうございます。
今年もよろしくおねがいします！」

3学期始業式当日、
横断歩道に立っていると、
いつものあいさつではなく
きちんと
新年のあいさつをしてくれる児童が
いました。
あいさつを受ける私も
背筋がピンッと伸びました。
2021年、3学期のスタートです。

さて、
始業式の挨拶の中で、
「一年の計は元旦にあり」
素晴らしい一年にするには、
年始めの決意が大切ですよということ、
そして、
この言葉には、その前とあとが
あるんだよ! という話をしました。

「一日の計は朝にあり
一年の計は元旦（春）にあり
一生の計は少壮の時にあり」

(※儒学者 安井息軒)

特に3つめ、
よい一生にするには、子ども時代、
つまり、
小学生である「今」が大切ですよ。
と、子どもたちに伝えました。

私は、すでに機を逃していますが、
1つめ、2つめを肝に銘じて、
今年も頑張りたいと思います。

みなさんは、
今年一年どんな決意でのぞまれますか？



児童を代表して「新年の決意」を語る3人!

後期学校評価の集計結果から

12月に実施しました後期の学校評価アンケート。忙しい年末にご協力ありがとうございました。学校運営協議会で意見をいただくことはまだできていませんが、集計結果から分かること等紹介いたします。

また、3学期の教育活動から結果を踏まえた見直しや改善を、できることから進めていきたいと思えます。

※ 集計結果の全容については、別紙 学校評価特別号をご覧ください。

【児童アンケートより】

- 前期同様、大勢の前で堂々と発表することに対して、苦手意識をもっている児童が多い。
- 地域の方の名前と顔が一致する人数が少ない。
- 気持ちのよいあいさつについては、できていると自覚している。

- 手伝いや、家庭学習、早寝、早起き等、家に帰ってからのことについて、自己評価が低い傾向にある。
- みんな学校が楽しいと思えている。
- みんな福賀のことが大好きである。

【保護者アンケートより】

- 前期と比較し、学校が家庭や地域と力を合わせ重点的に取り組もうとしている事柄について理解が進み、協力体制が構築されてきている。
- あいさつについては、子どもたち自身の評価より低い結果にあり、さらなる改善を望んでいる。

- 手伝いや家庭学習、早寝、早起き等、家での様子について、評価が低いものが多い。
- 家に帰ると外遊びすることはないという現状である。
- 子どもたちは、学校での様子を楽しく家で話している。

【地域アンケートより】

- 前期と比較し、学校が家庭や地域と力を合わせ重点的に取り組もうとしている事柄について、「協力したい」「手伝いたい」「がんばりましょう」という前向きな記述が増えている。
- 学校だよりを読み、学校の様子や学校の取組・考えが分かるという意見が増えてきた。

- 子ども達のあいさつや言葉遣いについては、前期と比べ評価は上がってきている。
- 地域の皆さんには、普段の子ども達の様子は分からない・見えていない状況である。
- 質問内容について「分からない」の回答が多い。
- 児童数が少ないなら交流機会を増やすと良い。
- 小規模だからこそできることを子ども達のために工夫していくとよい。

【教職員アンケートより】

- どの教職員も、重点取組事項を意識して教育活動を行うことができている。
- 学校の教育環境をさらに整える必要性を感じている。

- 家庭学習の在り方について、さらに工夫をする必要を感じている。
- あいさつや言葉遣いについて、子ども達の評価と食い違いがある。
- 前期と比較すると、全体に評価は上がってきている。



1月2日の雪景色